

問1 円安になることで利益が増えやすくなる、海外へ製品を販売している企業を何という？

1. 輸入企業 2. 小売企業 3. 製造企業 4. 輸出企業

問2 銀行同士が資金を貸し借りし、経済活動を円滑に進めるために行われる仕組みを何という？

1. 預金貸出 2. 資産運用 3. 信用創造 4. 資金決済

問3 日本銀行が景気や物価を安定させるために、金利の調整などを行う経済上の取り組みを何という？

1. 財政政策 2. 金融政策 3. 公共政策 4. 産業政策

問4 民間銀行の経営が行き詰まった際、日本銀行が資金を貸し出すことで連鎖倒産を防ぐ役割を何という？

1. 中央銀行 2. 政策金融機関 3. 市中銀行 4. 最後の貸し手

問5 政府が資金を調達するために発行する債券で、日本銀行が募集や支払いを代行するものを何という？

1. 社債 2. 地方債 3. 国債 4. 外国債

問6 お金に余裕がある人から、必要としている人へ資金を融通する仕組みを何という？

1. 金融 2. 財政 3. 貿易 4. 投資

問7 日本円と外国の通貨を交換する際、1単位あたりの円の価値が下がっている状態を何という？

1. 円安 2. 円高 3. インフレ 4. デフレ

問8 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？

1. 金利 2. 配当 3. 利潤 4. 賃金

問9 継続的に物価が下がり続け、相対的にお金の価値が上がってしまう経済状態を何という？

1. デフレーション 2. スタグフレーション 3. ハイパーインフレ 4. インフレーション

問10 銀行が預金を受け入れ、それを貸し出すことを繰り返すことで、社会全体で通貨の量が増える仕組みを何という？

1. 資産運用 2. 信用供与 3. 財政投融资 4. 信用創造

問11 日本銀行がかつて金融政策の手段として用い、市中銀行への貸出金利の基準としていた金利を何という？

1. 公開市場操作 2. 預金準備率 3. 法定準備金 4. 公定歩合

問12 日本銀行が物価を安定させ、経済を円滑に動かすために、金利の操作などを行って調整することを何といいますか？

1. 労働政策 2. 金融政策 3. 教育政策 4. 財政政策

問13 経済全体でモノの値段が継続的に上がり、貨幣の価値が相対的に下がってしまう現象を何といいますか？

1. 手形 2. 株券 3. 債券 4. 通貨

問14 景気の悪化やデフレからの脱却を目指し、市場への資金供給を増やす政策を行う中央銀行を何という？

1. 大蔵省 2. 財務省 3. 金融庁 4. 日本銀行

問15 円安によって海外からの資源や食料品の購入コストが引き上げられ、家計に負担をかける要因となる経済現象は何ですか？

1. 物価 2. 為替 3. 金利 4. 賃金

問16 外国の通貨に対して、日本円の価値が相対的に上がることを何という？

1. 円高 2. 円安 3. 株高 4. 株安

答え合わせ・解説

問1	答え 4 輸出企業	円安になると、海外で販売する製品を同じドル価格で売ったとしても、日本円に換算したときの売上高が増えます。また、価格を下げて販売しやすくなるため売れ行きも良くなり、自動車や電機などの輸出企業にとっては追い風となります。
問2	答え 4 資金決済	日本銀行にある民間銀行の当座預金口座を使って、銀行同士の支払いを差し引き計算で精算します。これにより、大量の現金を持ち運ぶことなく、安全かつ確実に「資金決済」が行われます。この効率的な仕組みが現代の経済を支えています。
問3	答え 2 金融政策	日本銀行が行う金融政策は、民間銀行が日本銀行から借りる際の金利を調整したり、市場に出回るお金の量を操作したりすることで、景気をコントロールします。金利を下げれば企業は投資しやすくなり、金利を上げれば景気の過熱を抑える効果があります。
問4	答え 4 最後の貸し手	民間銀行同士でも資金の貸し借りができない異常事態において、日本銀行が資金を貸し出すことで破綻を回避させます。これが「最後の貸し手」としての機能です。この存在があることで、預金者は安心して銀行にお金を預け続けられます。
問5	答え 3 国債	国債は国が発行する債券で、購入者には利子が支払われます。日本銀行はこの国債の発行事務や、満期を迎えた時の元利金の支払いを代行する役割を担っています。これにより、国債の流通が安定し、スムーズな資金調達が可能になります。
問6	答え 1 金融	預金者からお金を預かり、それを企業や個人へ貸し出す銀行などの金融機関がこの仲介役を担います。お金の貸し手は利息を受け取り、借り手は事業や購入のために資金を得ることで、経済活動が活発になります。
問7	答え 1 円安	円安とは「1ドル=100円」から「1ドル=120円」へ変化するように、外貨を買うために必要な円の量が増えることを指します。これは、円が外貨に対して安くなっていることを意味します。
問8	答え 1 金利	日本銀行は国債を買い入れることで銀行の持つ資金を増やします。すると、銀行は貸し出すおみに余裕ができるため、企業や個人へのお金の貸し出しを促進しようと金利を下げます。金利が下がると借金がしやすくなるため、投資や消費が活発になり景気の回復が期待されます。
問9	答え 1 デフレーション	デフレーションでは、モノの価格が下がり続けるため、企業は売上が減少します。また、お金の価値が上がるため、消費者は将来の値下げを期待して買い控えを行い、さらなる不況を招く悪循環に陥りやすいのが特徴です。
問10	答え 4 信用創造	銀行に預けられたお金の一部が借り手へ渡り、その借り手が別の銀行に預け、その銀行がまた貸し出す…という過程を繰り返すことで、元の現金以上の預金が生まれます。このように金融機関が預金を生み出すことを信用創造と呼びます。
問11	答え 4 公定歩合	日本銀行が公定歩合を引き下げると、銀行が日銀から資金を借りやすくなり、結果として銀行から企業や個人への貸出金利も下がるため、世の中に出回るお金の量（マネーストック）が増加します。逆に引き上げるとお金の流通量が減る仕組みです。
問12	答え 2 金融政策	金融政策は、景気の加熱や不況に対処するための手段です。景気が良い時は金利を引き上げてお金の貸し出しを抑制し、逆に不況の時は金利を引き下げてお金が回りやすいように調整します。この操作によって物価を安定させ、経済が順調に発展するように支えています。
問13	答え 4 通貨	インフレーションが起こると、同じ金額のお金で買えるモノの量が少なくなります。これは裏を返せば、お金そのものの価値（購買力）が低下していることを意味します。モノの値段が上がれば上がるほど、対的にお金の価値は小さくなってしまいます。
問14	答え 4 日本銀行	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」であり、「政府の銀行」として国庫金の出納を扱い、「銀行の銀行」として一般の金融機関へ資金の貸し出しを行います。景気が悪い時は金利を下げるなどして、世の中に出回るお金の量を増やす政策を実施します。
問15	答え 1 物価	円安になると、海外から輸入する品物の価格が日本円換算で高くなります。このコスト増を避けるために販売価格が引き上げられ、結果として国内全体の物価が上昇します。これが家計を圧迫する大きな要因となります。
問16	答え 1 円高	円高とは、例えば「1ドル=100円」だったものが「1ドル=80円」になるような状態です。これは以前よりも少ない円で外国の製品を購入できることを意味します。